

2024 年度
病院経営定期調査 概要版
—最終報告（集計結果）—

2024 年 11 月 16 日



一般社団法人 日本病院会



公益社団法人 全日本病院協会



一般社団法人 日本医療法人協会

目次

I. はじめに	3
II. 調査概要	4
III. 回答病院の属性	5
(1) 有効回答数の経年比較	5
IV. 集計結果とまとめ	6
V. 医業損益の2年連続比較	7
1. 年度比較(2022年度/2023年度)	7
(1) 医業損益への影響(全病院)	7
(2) 病床区分別の医業損益	9
(3) 開設主体別 医業損益	9
2. 医業損益の前年同月比較(2023年6月/2024年6月)	10
(1) 医業損益への影響(全病院)	10
(2) 病床区分別の医業損益	11
(3) 開設主体別 医業損益	11
VI. 6年連続比較《参考》	12
1. 延患者数、診療単価、診療収益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)	12
(1) 延患者数の対前年比 同月比較	12
(2) 一人一日あたりの診療収入(単価)の対前年比 同月比較	12
(3) 一病院あたりの診療収益の対前年比	12
(4) 6年連続同月比較 医業利益、経常利益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)	13
2. 医業損益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)の年度比較	13
(1) 6年連続年度比較 医業利益、経常利益 年度比較	13
(2) 一病院あたりの損益	14
VII. 診療収益・診療単価・延患者数の前年同月比較(2023年6月/2024年6月)	14
(1) 一病院あたりの診療収益の前年比	14
(2) 一人一日あたりの診療単価の前年比	15
(3) 延患者数の前年比	15
VIII. 名簿	16

I. はじめに

日本病院会、全日本病院協会及び日本医療法人協会の3団体は、診療報酬改定が与える影響を調査・検証し、会員病院の運営に資するとともに次回改定に向けて医療政策が改善する資料として発信していくことを目的として合同で実施しています。

上記3団体では、病院における「診療の質」と「経営の質」を大きな柱として、様々な事業に取り組んでいます。なかでも、経営の質については経営指標となるデータの収集と分析、病院機能別の経営状況の把握、さらには病院経営に対する幅広い課題への対応に努めています。

働き方改革やコロナ禍の話題が下火になり、平常時の医療経営の話題が多く聞かれるようになりました。特に目立った話題として、人材確保、医療DX、諸物価の高騰などが挙げられ、なかでも労働生産人口の減少と転職しやすい社会環境の影響を受け、看護師等の人材不足が深刻な状況にあります。また、コロナ禍後の患者の受療行動に変化がみられ、地域によっては病院経営に大きな影響が生じている様子も見られます。

そのような環境下において、地域医療構想の進展、労働時間の制約、人材不足、医療材料等の値上げといった病院経営の荒波を乗り越えていかなければなりません。不安定な経営環境下で方向性を誤ると経営が悪化する恐れも出てくることとなり、まさに気を緩めることができない状況にあります。

さて、病院団体合同調査ワーキンググループでは、会員病院にアンケートをお願いし寄せられたデータを分析検討しました。基本的には、昨年（2023年）と本年（2024年）の比較になります。ただし、2024年度診療報酬改定の時期が6月に後ろ倒しとされたことやコロナ禍の影響が残っていることから真の病院経営の実態が分かり難い結果となっていることは否めません。病院現場の実態を明らかにできるものとして、ここに調査の結果を公表します。

ご多忙のところアンケートにご協力いただきました病院様、ご担当者の皆様にお礼申し上げます。

病院団体合同調査ワーキンググループ 委員長 島 弘志

Ⅱ. 調査概要

- 調査目的：診療報酬改定が病院運営に与える影響を検証し、会員病院の運営に資することを目的とし、さらには安定的な病院運営が維持できる報酬設定を求めるため、中央社会保険医療協議会や社会保障審議会等の協議の場に、その根拠となるデータを提示する。
- 調査方法：日本病院会、全日本病院協会及び日本医療法人協会に加盟する全病院に、診療収入等についてEメール又はFAX等による調査票配布により実施、回収を行った。
- 調査期間：2024年7月22日～9月27日
(当初の8月30日までの回収期限を延長し、未記入等についてEメールおよび電話による問い合わせを実施した。)
- 主な調査項目：2023年・2024年の各6月の診療収益、一人一日あたりの診療収入、延患者数、診療行為別点数、医業損益等の前年同月比較。2022年度～2023年度の医業損益等の年度比較等。
- 回答数：1,356病院(回答率：30.5%)
有効回答数：1,242病院
(会員数：4,443病院：2024年7月1日現在)

- 図表中の数値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- 有効回答として、診療収入、診療単価、延患者数の計算に必要な【1. 基本情報】【2. 施設基準、病院機能等】【3. 患者統計、診療単価】がすべて入力されているものについて集計を実施した。
なお、許可病床数の2023年6月1日/2024年6月1日比が20%以上の変動増減がある病院については、収益に直接的に影響の無いと考えられる設問のみ集計を実施した。また、医業損益に関する2023年、2024年の各6月期の月次比較および2022年度、2023年度の年度比較、あわせて新型コロナ感染拡大後の影響をみるために6年連続で2018年度～2023年度の年度損益比較、2019年～2024年の各6月の診療収益、診療収益(単価)、延患者数、月次損益比較について集計を実施した。
1. 基本情報 2. 施設基準、病院機能等 3. 患者統計、診療単価 4. 診療報酬点数行為別内訳
5. 損益等 6. DPC/PDPSにおける医療機関別係数 7. 令和6年度診療報酬改定項目について
8. 令和6年度診療報酬改定に関するご意見、要望事項 等々
- 開設主体
国：厚生労働省 独立行政法人国立病院機構 国立大学法人 国立研究開発法人
独立行政法人労働者健康安全機構 独立行政法人地域医療機能推進機構
自治体：都道府県 市町村 地方独立行政法人
その他公的：日赤 済生会 北海道社会事業協会 厚生連 健康保険組合及びその連合会
国民健康保険組合 共済組合及びその連合会
医療法人：医療法人 特定医療法人 社会医療法人
その他私的：公益法人 私立学校法人 社会福祉法人 医療生協 会社 その他の法人 個人
- 病床区分
一般：一般病床80%以上
療養・ケアミックス：療養病床80%以上、または一般病床+療養病床が80%以上
精神：精神病床80%以上
その他：上記以外

Ⅲ. 回答病院の属性

（１）有効回答数の経年比較

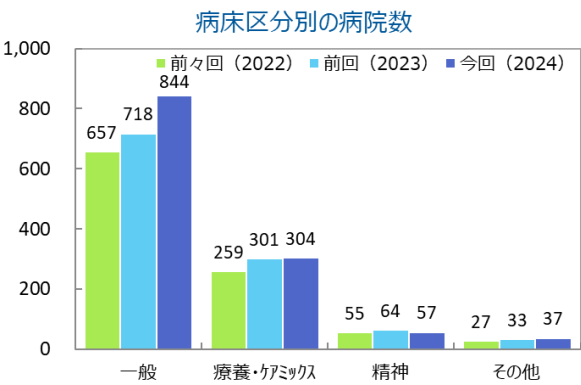
2024 年度調査の全回答病院数は 1,356 病院、うち有効回答数は 1,242 病院であった。許可病床数による病床規模別に有効回答数を 2023 年度および 2024 年度調査と比較した病床規模別の回答数増減ではすべて増加し、全体では 126 病院の増加となった。病床規模別有効回答数の比較では、100～199 床が 31.3%と最も多くを占めた(表 1)。

病床区分別の割合では、一般が 68.0%を占めており、続いて療養・ケアミックスが 24.5%であった (図 1)。

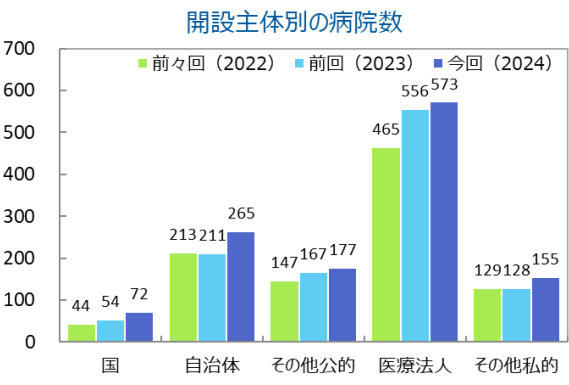
開設主体別の割合では、医療法人が 46.1%を占め、次に自治体、その他公的と続いた。それら 3 つの合計は全体の 81.7%を占めていた (図 2)。

（表 1）有効回答の病床規模別件数

	2022年度		2023年度		2024年度		前年度との比較	
	有効 回答数	割合	有効 回答数	割合	有効 回答数	割合	回答数 増減	増減 比率
20～99床	146	14.6%	176	15.8%	178	14.3%	+2	+1.1%
100～199床	305	30.6%	354	31.7%	389	31.3%	+35	+9.9%
200～299床	150	15.0%	150	13.4%	195	15.7%	+45	+30.0%
300～399床	140	14.0%	165	14.8%	169	13.6%	+4	+2.4%
400～499床	100	10.0%	111	9.9%	129	10.4%	+18	+16.2%
500床～	157	15.7%	160	14.3%	182	14.7%	+22	+13.8%
合計	998	100.0%	1,116	100.0%	1,242	100.0%	+126	+11.3%



（図 1）病床区分別の病院数



（図 2）開設主体別の病院数

Ⅳ. 集計結果とまとめ

新型コロナウイルス感染症が拡大した 2019 年度から 2022 年度、5 類移行が行われた 2023 年度以降の病院経営の実態を把握するため、医業損益の調査項目として、2022 年、2023 年に引き続き「コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額／補助金」ならびに「コロナ関連の補助金を除く経常利益」を加え、2023 年と同様に水道光熱費の内訳として電気・ガス料金等を再掲科目とした。また、今回は医療人材確保のための「紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料」に関する費用等について調査を実施した。

2022 年度、23 年度の医業損益比較では、全病院の医業損益の年度比較において医業収益の伸びは+2.8%、医業費用+2.5%により、23 年度の医業利益は赤字額がわずかに減じたが、経常利益は医業外収益の大幅な減収により、22 年度の黒字から赤字に転じた。

2023 年 6 月/24 年 6 月の前年同月比較をみると、医業収益-1.5%、医業費用+0.6%となり、医業利益、経常利益ともに 2 期赤字・減益となった。医業収益の内訳では、入院診療収入が+0.3%にとどまり、外来診療収入は-5.0%の減収であった。

近年の経営調査では増収減益傾向が続いていたが、24 年度は減収減益傾向に転じることも想定され、診療報酬改定の影響とあわせて病院経営はさらに厳しさを増し、病院運営の大きな転換点を迎えたといえる。

また参考として、2018 年度～23 年度の 6 年連続年度比較について追跡調査をみると、医業利益の赤字病院割合は 18 年度の 67.6%から 20 年度 85.3%、21 年度は 73.5%に改善したが、23 年度には再び 83.3%に拡大していた。経常利益の黒字病院割合では、18 年度 52.0%、19 年度 56.9%より 20 年度 73.5%、21 年度 85.3%、22 年度は 82.4%まで増加したが、23 年度は 38.2%に減少していた。

《医業損益に関する調査結果》

* 年度比較（2022 年度／2023 年度）100 床あたり

- ▼ 医業利益 -20,563 万円 から -20,195 万円に赤字が若干縮小した。
- ▼ 経常利益 13,344 万円から-3,722 万円に黒字から赤字に転じ、コロナ関連の補助金を除くと-7,700 万円から-8,426 万円に赤字が拡大した。
- ◆ 医業利益 赤字病院の割合 74.8%から 74.9%に 0.1 ポイント微増した。
- ◆ 経常利益 赤字病院の割合 23.0%から 53.4%に 30.4 ポイント増加した。コロナ関連の補助金を除くと 62.9%から 65.3%に 2.4 ポイント増加した。

*** 前年同月比較（2023 年 6 月／2024 年 6 月）100 床あたり**

- ▼ 医業利益 -1,735 万円 から -2,219 万円 に赤字が拡大した。
- ▼ 経常利益 -520 万円から -1,240 万円に赤字が拡大した。コロナ関連の補助金を除くと-691 万円から-1,252 万円に赤字が拡大した。
- ◆ 医業利益 赤字病院の割合 67.2%から 71.7%に 4.5 ポイント増加した。
- ◆ 経常利益 赤字病院の割合 56.6%から 63.8%に 7.2 ポイント増加した。コロナ関連の補助金を除くと 59.2%から 63.9%に 4.7 ポイント増加した。

V. 医業損益の 2 年連続比較

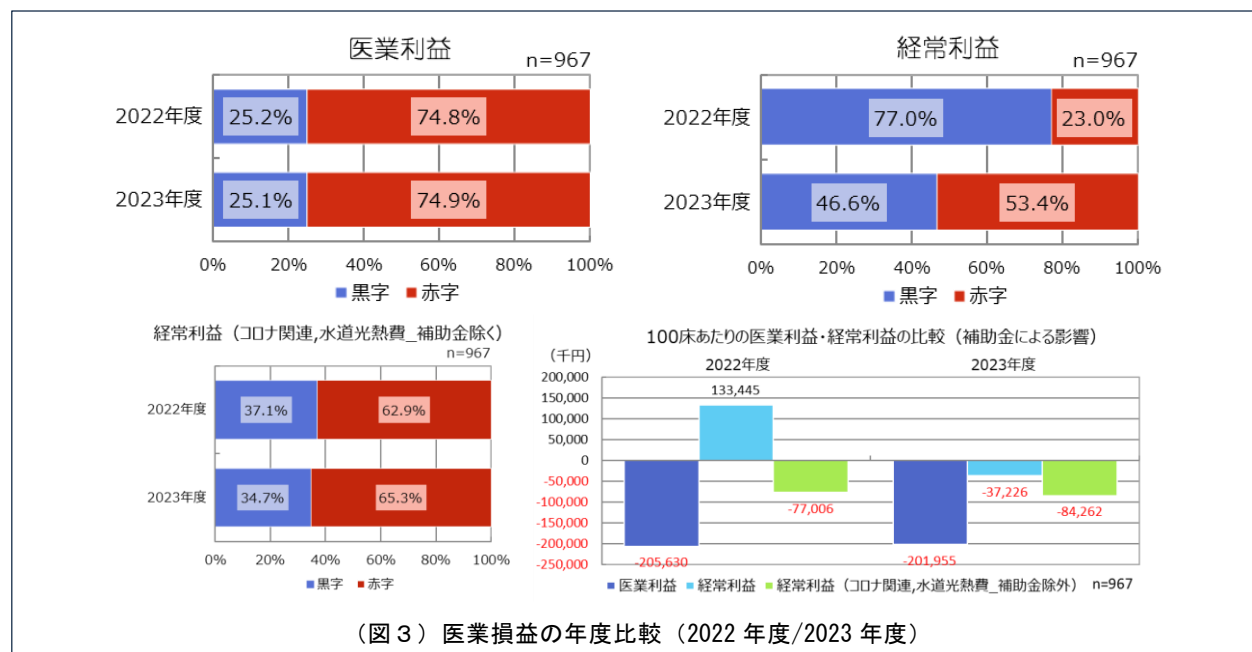
1. 年度比較（2022 年度／2023 年度）

（1）医業損益への影響（全病院）

医業利益における赤字病院割合は、2022 年度の 74.8%から 2023 年度は 74.9%に微増していた。経常利益は 2022 年度の黒字病院割合が 77.0%に対して、赤字病院割合が 2022 年度 23.0%から 2023 年度 53.4%に 30.4 ポイント増加していた。コロナ関連の補助金を除く経常利益の赤字病院割合は、62.9%から 65.3%へ増加していた。

2022 年度の 100 床あたり医業利益が-20,563 万円の赤字に対して、経常利益は+13,344 万円の黒字に転じ、コロナ関連の補助金を除く経常利益では-7,700 万円の赤字であった。

2023 年度は医業利益-20,195 万円、経常利益-3,722 万円、コロナ関連の補助金を除く経常利益-8,426 万円となり、2022 年度は黒字であった経常利益は赤字に転じた（図 3）。



医業収益の伸びは+2.8%、医業費用+2.5%により、2023年度の医業利益は前年よりわずかに赤字が縮小し、経常利益は医業外収益の大幅な減収により、2022年度の黒字から赤字に転じた。2023年度の全病院の100床あたりの医業利益が-20,195万円、経常利益は-3,722万円、補助金を除く損益差額は-16,654万円、コロナ関連の補助金を除く経常利益は-8,426万円であった。なお、コロナ関連緊急包括支援事業補助金額は2022年度20,844万円より2023年度4,447万円へと大きく減少していた。また、人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料は、2022年度231万円、2023年度373万円であった（表2）。

科目 (単位：千円)	全病院 (n=967) 平均病床数：304				2023年度 黒字病院 (n=451) 平均病床数：291				2023年度 赤字病院 (n=516) 平均病床数：316			
	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比
①医業収益	2,713,551	2,789,279	75,728	2.8%	2,802,379	2,892,937	90,557	3.2%	2,641,905	2,705,672	63,767	2.4%
②医業費用	2,919,181	2,991,234	72,053	2.5%	2,868,881	2,931,649	62,769	2.2%	2,959,751	3,039,292	79,542	2.7%
③医業利益 (①-②)	-205,630	-201,955	3,675		-66,501	-38,713	27,789		-317,845	-333,620	-15,775	
④医業外収益	394,278	216,996	-177,281	-45.0%	313,830	181,207	-132,623	-42.3%	459,163	245,863	-213,301	-46.5%
⑤医業外費用	55,203	52,267	-2,936	-5.3%	38,176	35,411	-2,765	-7.2%	68,935	65,862	-3,073	-4.5%
⑥経常利益 (④+⑤)	133,445	-37,226	-170,671		209,153	107,084	-102,069		72,383	-153,620	-226,003	
コロナ関連 水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥-(⑦+⑧))	-77,006	-84,262	-7,256		37,612	57,371	19,759		-169,452	-198,498	-29,046	
医業利益率 (③÷①)	-7.6%	-7.2%			-2.4%	-1.3%			-12.0%	-12.3%		
経常利益率 (⑥÷①)	4.9%	-1.3%			7.5%	3.7%			2.7%	-5.7%		
※1 補助金 (運営・施設・その他)	286,024	129,315	-156,709	-54.8%	230,717	112,207	-118,511	-51.4%	330,632	143,113	-187,519	-56.7%
※2 補助金を除く医業外収益 (④-※1)	108,254	87,682	-20,572	-19.0%	83,113	69,000	-14,113	-17.0%	128,531	102,749	-25,782	-20.1%
※3 損益差額 (③+※2-⑤)	-152,579	-166,541	-13,962		-21,565	-5,123	16,441		-258,249	-296,733	-38,484	
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	208,445	44,478			169,725	47,387			239,676	42,132		
⑧水道光熱費 補助金	2,006	2,558			1,816	2,325			2,159	2,746		
⑨人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料	2,318	3,732			2,072	3,228			2,517	4,138		

※1 「補助金 (運営・施設・その他)」：医業外収益に含まれる運営費補助金、施設設備補助金、その他補助金の合計
 ※2 「補助金を除く医業外収益」：医業外収益より、※1の補助金合計額を除いた額
 ※3 「損益差額」：経常利益より補助金額の合計を除いた差益額

(表2) 全病院の医業損益・100床あたりの平均

また、医業収益の内訳では、入院診療収入+3.4%、外来診療収入+2.1%であった。その他医業収入が全区分で共通して減収となった。また、全病院の医業外収益は-45.0%の減収、そのうち運営費補助金の減収額が最も大きく、黒字・赤字病院群もほぼ同様の結果であった。

全病院の医業費用+2.5%の内訳では、材料費、給与費、設備関係費、委託費の順に費用が増加し、経費は水道光熱費の減少により減少した。材料費+6.1%の内訳では医薬品費+6.7%、診療材料費+5.1%の伸びが大きかった（表3）。

科目 (単位：千円)	全病院 (n=967) 平均病床数：304				2023年度 黒字病院 (n=451) 平均病床数：291				2023年度 赤字病院 (n=516) 平均病床数：316			
	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比
①医業収益	2,713,551	2,789,279	75,728	2.8%	2,802,379	2,892,937	90,557	3.2%	2,641,905	2,705,672	63,767	2.4%
入院診療収入	1,765,829	1,825,720	59,891	3.4%	1,833,318	1,901,876	68,558	3.7%	1,711,395	1,764,295	52,901	3.1%
室料差額収益	34,244	37,028	2,784	8.1%	37,490	40,324	2,834	7.6%	31,626	34,370	2,743	8.7%
外来診療収入	828,681	846,158	17,477	2.1%	845,405	868,381	22,976	2.7%	815,192	828,234	13,042	1.6%
その他医業収入	84,797	80,373	-4,425	-5.2%	86,167	82,356	-3,811	-4.4%	83,693	78,774	-4,919	-5.9%
②医業費用	2,919,181	2,991,234	72,053	2.5%	2,868,881	2,931,649	62,769	2.2%	2,959,751	3,039,292	79,542	2.7%
材料費	813,156	862,580	49,423	6.1%	848,823	904,607	55,784	6.6%	784,389	828,682	44,293	5.6%
医薬品費 (再掲)	492,374	525,529	33,155	6.7%	511,308	550,959	39,651	7.8%	477,104	505,019	27,915	5.9%
診療材料費 (再掲)	291,483	306,494	15,011	5.1%	303,459	318,891	15,431	5.1%	281,823	296,496	14,672	5.2%
給与費	1,412,319	1,430,580	18,261	1.3%	1,359,382	1,372,668	13,285	1.0%	1,455,016	1,477,289	22,274	1.5%
委託費	202,520	207,033	4,513	2.2%	181,856	185,376	3,520	1.9%	219,187	224,500	5,313	2.4%
設備関係費	250,417	256,608	6,191	2.5%	238,437	240,843	2,407	1.0%	260,079	269,323	9,243	3.6%
減価償却費 (再掲)	169,235	172,188	2,954	1.7%	153,888	153,581	-307	-0.2%	181,613	187,197	5,584	3.1%
研究研修費	7,734	8,674	939	12.1%	7,563	8,640	1,076	14.2%	7,873	8,701	828	10.5%
経費	175,965	170,000	-5,965	-3.4%	166,892	158,048	-8,845	-5.3%	183,282	179,640	-3,643	-2.0%
水道光熱費 (再掲)	61,795	54,761	-7,033	-11.4%	58,205	51,631	-6,574	-11.3%	64,690	57,286	-7,403	-11.4%
電気料金	37,842	33,791	-4,051	-10.7%	35,100	31,571	-3,529	-10.1%	40,053	35,581	-4,472	-11.2%
ガス料金	13,454	10,528	-2,926	-21.7%	12,812	9,864	-2,948	-23.0%	13,972	11,064	-2,908	-20.8%
その他の水道光熱費	10,499	10,442	-56	-0.5%	10,294	10,196	-98	-1.0%	10,664	10,641	-23	-0.2%
控除対象外消費税等負担額	42,438	43,316	878	2.1%	45,949	46,780	831	1.8%	39,606	40,522	916	2.3%
本部費配賦額	14,631	12,444	-2,186	-14.9%	19,978	14,688	-5,290	-26.5%	10,318	10,635	317	3.1%
④医業外収益	394,278	216,996	-177,281	-45.0%	313,830	181,207	-132,623	-42.3%	459,163	245,863	-213,301	-46.5%
運営費補助金 (再掲)	189,287	94,168	-95,118	-50.3%	152,769	81,387	-71,382	-46.7%	218,740	104,477	-114,263	-52.2%
施設設備補助金 (再掲)	15,262	11,738	-3,524	-23.1%	12,489	9,937	-2,551	-20.4%	17,498	13,190	-4,309	-24.6%
その他補助金 (再掲)	81,476	23,409	-58,067	-71.3%	65,460	20,883	-44,578	-68.1%	94,394	25,446	-68,947	-73.0%

(表3) 全病院の医業損益の内訳・100床あたりの平均

（２）病床区分別の医業損益

病床区分別の年度比較では、医業利益では一般、その他で２期赤字・増益であった。経常利益では一般、その他は黒字から赤字に転じ、療養・ケアミックス、精神が２期黒字・減益であった。

2023年度の一般における100床あたり医業利益が－23,483万円の赤字に対して、経常利益は－4,659万円、補助金等を除いた損益差額は－19,826万円、コロナ関連の補助金を除く経常利益は－10,026万円であった。なお、コロナ関連緊急包括支援事業補助金額は5,100万円、前年比で21.1%に減少していた（表４）。

科目 (単位：千円)	一般 (n=679) 平均病床数：350				療養・ケアミックス (n=213) 平均病床数：162				精神 (n=48) 平均病床数：268				その他 (n=27) 平均病床数：346			
	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比
①医業収益	3,051,856	3,145,385	93,528	3.1%	1,451,759	1,453,408	1,649	0.1%	677,586	668,792	-8,794	-1.3%	1,581,406	1,594,869	13,463	0.9%
②医業費用	3,291,598	3,380,221	88,623	2.7%	1,492,685	1,495,154	2,469	0.2%	689,818	685,907	-3,910	-0.6%	1,795,250	1,807,930	12,680	0.7%
③医業利益 (①-②)	-239,742	-234,836	4,906		-40,925	-41,746	-821		-12,232	-17,115	-4,883		-213,844	-213,061	783	
④医業外収益	455,977	248,512	-207,465	-45.5%	129,654	75,271	-54,383	-41.9%	54,460	46,862	-7,598	-14.0%	272,129	174,140	-97,989	-36.0%
⑤医業外費用	63,587	60,275	-3,312	-5.2%	18,420	16,381	-2,039	-11.1%	9,992	11,176	1,184	11.9%	40,320	37,966	-2,353	-5.8%
⑥経常利益 ((①+④) - (②+⑤))	152,648	-46,599	-199,247		70,309	17,145	-53,165		32,236	18,570	-13,666		17,965	-76,888	-94,853	
コロナ関連、水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥ - (⑦+⑧))	-91,692	-100,265	-8,573		-3,507	-3,991	-484		8,542	8,107	-435		-93,274	-101,489	-8,215	
医業利益率 (③÷①)	-7.9%	-7.5%			-2.8%	-2.9%			-1.8%	-2.6%			-13.5%	-13.4%		
経常利益率 (⑥÷①)	5.0%	-1.5%			4.8%	1.2%			4.8%	2.8%			1.1%	-4.8%		
※1_補助金 (運営・施設・その他)	334,380	151,661	-182,719	-54.6%	85,630	35,843	-49,787	-58.1%	18,635	14,791	-3,844	-20.6%	165,841	64,519	-101,322	-61.1%
※2_補助金を除く医業外収益 (④ - ※1)	121,597	96,851	-24,746	-20.4%	44,025	39,428	-4,596	-10.4%	35,825	32,071	-3,755	-10.5%	106,288	109,621	3,333	3.1%
※3_損益差額 (③+※2-⑤)	-181,732	-198,260	-16,528		-15,320	-18,698	-3,378		13,601	3,779	-9,822		-147,876	-141,407	6,469	
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	242,247	51,004			72,193	18,933			22,004	8,008			109,602	23,222		
⑧水道光熱費 補助金	2,093	2,662			1,623	2,202			1,690	2,455			1,637	1,379		
⑨人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料	2,333	3,785			3,280	4,956			461	1,241			944	1,282		

（表４）病床区分別の医業損益・100床あたりの平均

（３）開設主体別 医業損益

開設主体別の医業損益比較では、医業収益の前年比は自治体の+3.5%が最も高く、次いでその他私的の+3.2%であった。

科目 (単位：千円)	国 (n=64) 平均病床数：410				自治体 (n=228) 平均病床数：382				その他公的 (n=136) 平均病床数：383			
	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比
①医業収益	2,662,329	2,741,735	79,406	3.0%	2,844,975	2,945,089	100,114	3.5%	3,147,170	3,218,605	71,435	2.3%
②医業費用	2,844,107	2,900,834	56,727	2.0%	3,298,315	3,397,799	99,484	3.0%	3,276,972	3,367,638	90,666	2.8%
③医業利益 (①-②)	-181,778	-159,099	22,679		-453,340	-452,710	630		-129,802	-149,034	-19,231	
④医業外収益	403,977	204,541	-199,436	-49.4%	647,211	418,951	-228,260	-35.3%	376,826	159,778	-217,048	-57.6%
⑤医業外費用	109,640	85,582	-24,058	-21.9%	91,363	93,452	2,089	2.3%	44,035	39,511	-4,524	-10.3%
⑥経常利益 ((①+④) - (②+⑤))	112,559	-40,141	-152,700		102,508	-127,211	-229,720		202,989	-28,767	-231,755	
コロナ関連、水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥ - (⑦+⑧))	-110,128	-82,313	27,815		-164,296	-179,070	-14,774		-61,014	-84,546	-23,531	
医業利益率 (③÷①)	-6.8%	-5.8%			-15.9%	-15.4%			-4.1%	-4.6%		
経常利益率 (⑥÷①)	4.2%	-1.5%			3.6%	-4.3%			6.4%	-0.9%		
※1_補助金 (運営・施設・その他)	253,652	80,480	-173,172	-68.3%	457,469	251,454	-206,015	-45.0%	317,116	119,219	-197,897	-62.4%
※2_補助金を除く医業外収益 (④ - ※1)	150,325	124,060	-26,265	-17.5%	189,742	167,497	-22,245	-11.7%	59,710	40,559	-19,151	-32.1%
※3_損益差額 (③+※2-⑤)	-141,093	-120,621	20,472		-354,961	-378,665	-23,704		-114,127	-147,986	-33,858	
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	221,005	40,322			264,693	49,466			261,523	52,348		
⑧水道光熱費 補助金	1,682	1,850			2,111	2,393			2,479	3,430		
⑨人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料	479	1,057			2,659	3,278			644	921		

科目 (単位：千円)	医療法人 (n=414) 平均病床数：197				その他私的 (n=125) 平均病床数：380			
	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比
①医業収益	1,923,969	1,956,139	32,170	1.7%	3,378,389	3,486,704	108,315	3.2%
②医業費用	1,955,699	1,986,282	30,582	1.6%	3,523,959	3,604,813	80,854	2.3%
③医業利益 (①-②)	-31,730	-30,143	1,588		-145,571	-118,109	27,461	
④医業外収益	166,487	74,622	-91,865	-55.2%	334,487	160,153	-174,334	-52.1%
⑤医業外費用	23,162	20,115	-3,047	-13.2%	26,003	27,432	1,429	5.5%
⑥経常利益 ((①+④) - (②+⑤))	111,595	24,364	-87,231		162,914	14,612	-148,301	
コロナ関連、水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥ - (⑦+⑧))	-122	-6,369	-6,246		-47,914	-44,615	3,299	
医業利益率 (③÷①)	-1.6%	-1.5%			-4.3%	-3.4%		
経常利益率 (⑥÷①)	5.8%	1.2%			4.8%	0.4%		
※1_補助金 (運営・施設・その他)	120,264	42,351	-77,913	-64.8%	239,390	92,320	-147,070	-61.4%
※2_補助金を除く医業外収益 (④ - ※1)	46,224	32,271	-13,953	-30.2%	95,097	67,833	-27,264	-28.7%
※3_損益差額 (③+※2-⑤)	-8,668	-17,987	-9,318		-76,476	-77,708	-1,232	
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	110,072	28,481			208,736	56,406		
⑧水道光熱費 補助金	1,645	2,252			2,092	2,822		
⑨人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料	3,354	5,389			2,769	6,280		

（表５）開設主体別の医業損益・100床あたりの平均

医業利益の比較では、すべての開設主体で２期赤字、その他公的のみ２期赤字・減益であった。医業外収益がすべての開設主体で大きく減収し、経常利益では、医療法人、その他私的が２期黒

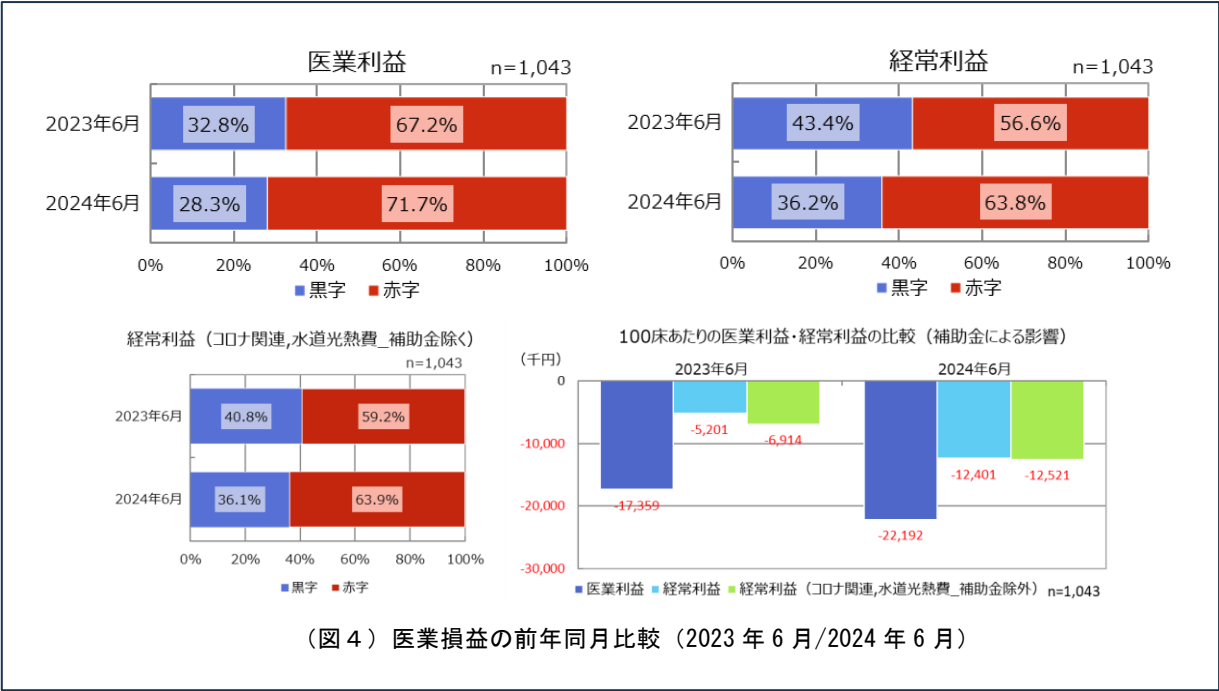
字・減益、国、自治体、その他の公的が黒字から赤字に転じた。

補助金等を除く損益差額、コロナ関連の補助金を除く経常利益では、すべての開設主体で 2 期赤字であった（表 5）。

2. 医業損益の前年同月比較（2023 年 6 月/2024 年 6 月）

（1）医業損益への影響（全病院）

医業利益の前年同月比較では、赤字病院割合は 2023 年 6 月期の 67.2%から 2024 年 6 月期には 71.7%へと 4.5 ポイント増加し、経常利益では、赤字病院割合が 56.6%から 63.8%へと 7.2 ポイント増加していた。100 床あたりの医業損益では、2024 年 6 月期で医業利益－2,219 万円、経常利益－1,240 万円であり、コロナ補助金を除く経常利益は－1,252 万円であった（図 4）。



（図 4）医業損益の前年同月比較（2023 年 6 月/2024 年 6 月）

全病院の医業収益は前年比－1.5%の減収、医業費用は＋0.6%の増加となり、医業利益の赤字額は 483 万円増加し、医業外収益は前年比－16.7%の減収、経常利益は－520 万円から－1,240 万円になり赤字額は 720 万円増加していた（表 6）。

科目 (単位：千円)	全病院 (n=1,043) 平均病床数：292				2024年6月 黒字病院 (n=378) 平均病床数：250				2024年6月 赤字病院 (n=665) 平均病床数：316			
	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比
①医業収益	230,036	226,650	-3,386	-1.5%	225,158	224,247	-912	-0.4%	232,229	227,731	-4,498	-1.9%
②医業費用	247,395	248,841	1,447	0.6%	223,037	224,495	1,459	0.7%	258,348	259,789	1,441	0.6%
③医業利益 (①-②)	-17,359	-22,192	-4,833		2,122	-249	-2,370		-26,119	-32,058	-5,940	
④医業外収益	15,097	12,580	-2,516	-16.7%	24,391	24,311	-80	-0.3%	10,917	7,306	-3,612	-33.1%
⑤医業外費用	2,939	2,790	-149	-5.1%	2,446	1,890	-556	-22.7%	3,160	3,194	34	1.1%
⑥経常利益 ((③+④) - (⑤))	-5,201	-12,401	-7,200		24,067	22,173	-1,894		-18,362	-27,947	-9,585	
コロナ関連_水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥-(⑦+⑧))	-6,914	-12,521	-5,608		22,783	22,109	-674		-20,267	-28,093	-7,826	
医業利益率 (③÷①)	-7.5%	-9.8%			0.9%	-0.1%			-11.2%	-14.1%		
経常利益率 (⑥÷①)	-2.3%	-5.5%			10.7%	9.9%			-7.9%	-12.3%		
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	1,665	97			1,254	32			1,849	127		
⑧水道光熱費関連補助金 入金額	48	23			30	32			56	19		

（表 6）全病院の医業損益・100 床あたりの平均

（２）病床区分別の医業損益

病床区分別の医業損益の前年同月比較では、一般病院の医業収益は前年比－1.5%、医業費用＋0.6%の増加となり、医業利益は－2,044万円の赤字から－2,626万円の赤字に赤字幅が582万円拡大、経常利益は医業外収益の－16.5%の影響で－646万円の赤字から－1,497万円の赤字に赤字幅が850万円拡大した。

療養・ケアミックスでは医業収益が＋0.4%、医業費用＋0.1%となり医業利益の赤字幅は減少した。経常利益は医業外収益が－13.1%であったが黒字を維持していた（表7）。

科目 (単位：千円)	一般 (n=725) 平均病床数：335				療養・ケアミックス (n=240) 平均病床数：161				精神 (n=48) 平均病床数：266				その他 (n=30) 平均病床数：352			
	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比
①医業収益	260,973	256,939	-4,034	-1.5%	119,488	119,940	452	0.4%	58,368	57,138	-1,230	-2.1%	131,760	126,596	-5,164	-3.9%
②医業費用	281,413	283,200	1,787	0.6%	123,612	123,740	128	0.1%	57,021	57,192	170	0.3%	149,434	149,438	4	0.0%
③医業利益 (①-②)	-20,440	-26,261	-5,821	-16.5%	-4,124	-3,800	324	-7.8%	1,347	-53	-1,400	-8.6%	-17,674	-22,842	-5,168	-29.0%
④医業外収益	17,414	14,534	-2,880	-16.5%	5,977	5,191	-786	-13.1%	1,581	1,445	-136	-8.6%	11,600	8,233	-3,367	-29.0%
⑤医業外費用	3,436	3,244	-192	-5.6%	934	909	-25	-2.6%	413	741	329	79.7%	1,917	1,723	-194	-10.1%
⑥経常利益 ((①+④) - (②+⑤))	-6,462	-14,971	-8,509	-13.1%	920	482	-438	-47.6%	2,515	650	-1,865	-74.2%	-7,990	-16,332	-8,341	-104.1%
コロナ関連、水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥ - (⑦+⑧))	-8,473	-15,102	-6,629	-77.8%	230	362	132	57.4%	2,303	635	-1,668	-72.4%	-8,396	-16,340	-7,943	-95.3%
医業利益率 (③÷①)	-7.8%	-10.2%			-3.5%	-3.2%			2.3%	-0.1%			-13.4%	-18.0%		
経常利益率 (⑥÷①)	-2.5%	-5.8%			0.8%	0.4%			4.3%	1.1%			-6.1%	-12.9%		
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	1,978	115			587	40			11	11			406	0		
⑧水道光熱費関連補助金 入金額	33	16			103	81			201	4			0	8		

（表7）病床区分別の医業損益・100床あたりの平均

（３）開設主体別 医業損益

開設主体別の医業損益の前年同月比較では、すべての開設主体で医業利益が2期赤字となり、医療法人を除き赤字幅は拡大していた。経常利益では医療法人以外の開設主体で2期赤字、医療法人は＋44万円から－92万円に黒字から赤字に転じた。

2024年6月期の医業利益の赤字額では自治体の－4,579万円が最大で、経常利益は自治体の－2,247万円が赤字額の最大であった。

医業収益は医療法人が前年比＋0.9%の微増、その他私的が－1.2%の微減、その他公的は－1.8%、自治体は－2.6%、国が－2.9%と減少していた。医業費用は国、自治体、医療法人で増加となり、自治体の前年比＋1.8%が最大、最小はその他公的で－1.0%の減収であった（表8）。

科目 (単位：千円)	国 (n=61) 平均病床数：379				自治体 (n=236) 平均病床数：376				その他公的 (n=153) 平均病床数：367				医療法人 (n=464) 平均病床数：192				その他私的 (n=129) 平均病床数：367			
	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比
①医業収益	215,894	209,540	-6,354	-2.9%	249,910	243,306	-6,603	-2.6%	263,773	259,043	-4,730	-1.8%	161,684	163,185	1,501	0.9%	288,352	284,841	-3,510	-1.2%
②医業費用	226,070	228,059	1,989	0.9%	283,865	289,103	5,237	1.8%	277,004	274,305	-2,699	-1.0%	164,277	165,496	1,220	0.7%	310,794	310,213	-580	-0.2%
③医業利益 (①-②)	-10,176	-18,519	-8,343	-82.0%	-33,955	-45,796	-11,841	-34.9%	-13,232	-15,262	-2,031	-15.3%	-2,593	-2,312	281	11.2%	-22,442	-25,372	-2,930	-13.1%
④医業外収益	6,155	5,621	-535	-8.7%	30,825	28,114	-2,710	-8.8%	8,491	4,949	-3,543	-41.7%	4,354	2,734	-1,620	-37.2%	18,029	14,439	-3,590	-19.9%
⑤医業外費用	5,089	4,388	-701	-13.8%	4,469	4,789	320	7.2%	2,324	2,522	197	8.5%	1,314	1,346	32	2.4%	2,808	1,296	-1,512	-53.9%
⑥経常利益 ((①+④) - (②+⑤))	-9,110	-17,287	-8,177	-89.7%	-7,600	-22,471	-14,871	-194.3%	-7,064	-12,835	-5,771	-81.7%	447	-923	-1,370	-301.1%	-7,220	-12,228	-5,008	-69.4%
コロナ関連、水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥ - (⑦+⑧))	-9,341	-17,382	-8,041	-85.7%	-9,564	-22,720	-13,156	-137.6%	-10,505	-12,902	-2,396	-22.8%	-554	-1,015	-460	-83.0%	-8,472	-12,239	-3,766	-44.5%
医業利益率 (③÷①)	-4.7%	-8.8%			-13.6%	-18.8%			-5.0%	-5.9%			-1.6%	-1.4%			-7.8%	-8.9%		
経常利益率 (⑥÷①)	-4.2%	-8.2%			-3.0%	-9.2%			-2.7%	-5.0%			0.3%	-0.6%			-2.5%	-4.3%		
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	189	0			1,961	249			3,305	52			945	49			1,238	6		
⑧水道光熱費関連補助金 入金額	42	96			3	0			136	15			56	42			14	4		

（表8）開設主体別の医業損益・100床あたりの平均

VI. 6年連続比較《参考》

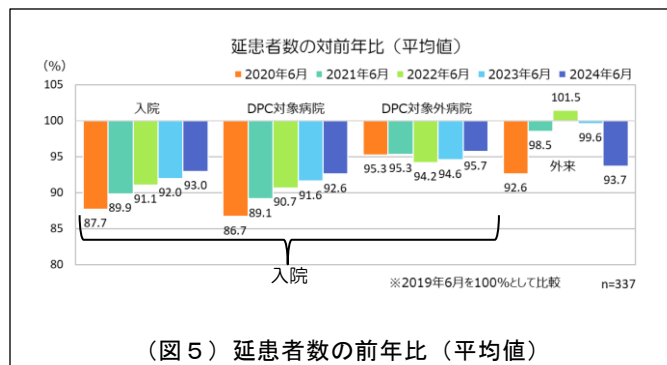
1. 延患者数、診療単価、診療収益（新型コロナウイルス感染拡大による影響）

（2019年6月/2020年6月/2021年6月/2022年6月/2023年6月/2024年6月）

（1）延患者数の対前年比 同月比較

延患者数についてコロナ前の2019年6月期を100%とした6年連続の同月比較では、全体の入院患者数は2020年は対前年比87.7%に落ち込んだが、2024年に93.0%へと年々わずかに増加していた。DPC対象別では、DPC対象病院は全入院とほぼ同様の傾向であった。DPC対象外は、95%前後で推移し、2024年は95.7%であった。

外来患者数は2020年6月期の92.6%から2022年101.5%へと増加したが、2024年には93.7%に減少していた（図5）。

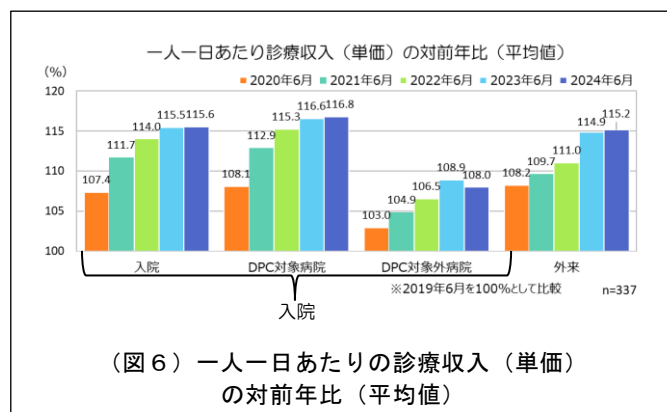


（図5）延患者数の前年比（平均値）

（2）一人一日あたりの診療収入（単価）の対前年比 同月比較

診療単価について2019年6月期を100%とした6年連続の同月比較では、入院単価は概ね年々増加していた。入院全体では2023年115.5%、2024年がほぼ同率の115.6%であった。DPC対象病院はそれぞれ116.6%、116.8%であった。

外来単価は、2020年の108.2%から2023年114.9%、2024年には115.2%へと増加していた（図6）。



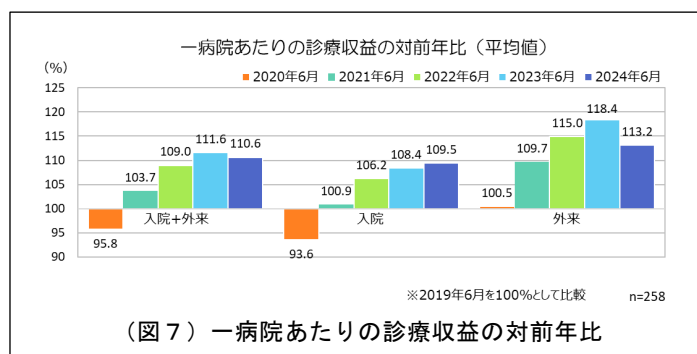
（図6）一人一日あたりの診療収入（単価）の対前年比（平均値）

（3）一病院あたりの診療収益の対前年比

診療収益について2019年6月期を100%とした6年連続の同月比較では、入院＋外来収益では2020年に減収となったが、2021年以降は増収に転じ、2023年は111.6%、2024年110.6%であった。

入院収益は、2020年に93.6%であったが、2023年108.4%、2024年には109.5%へと増加していた。

外来収益は、2020年100.5%から2021年109.7%に、2023年は118.4%、2024年113.2%であった（図7）。



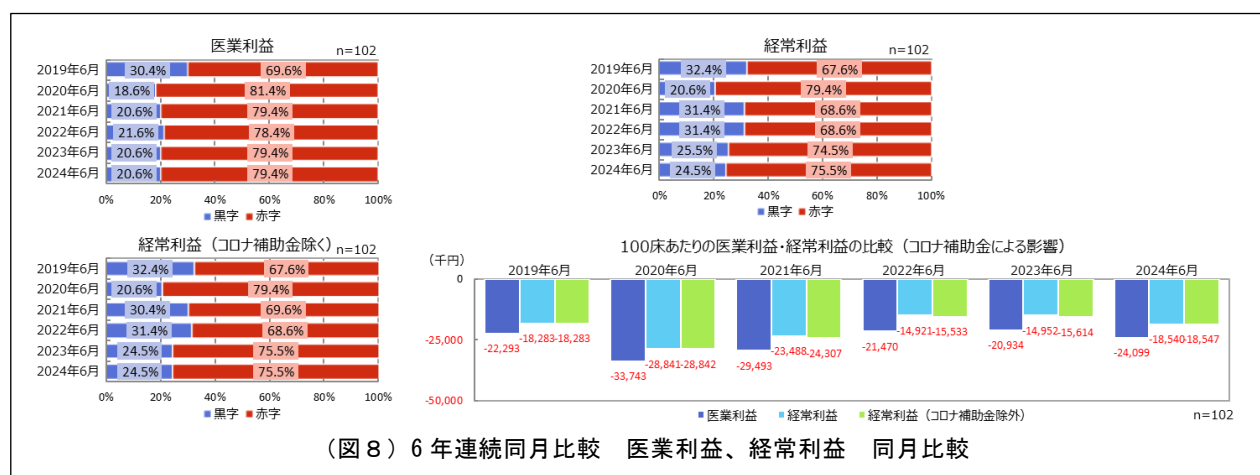
（図7）一病院あたりの診療収益の対前年比

(4) 6年連続同月比較 医業利益、経常利益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

医業利益の赤字病院割合は、赤字病院割合が2019年69.6%より2020年は81.4%に増加し、以降79%前後で推移し、2024年79.4%であった。

経常利益の赤字病院割合では、2019年は67.6%より2020年は79.4%に増加し、2021年、2022年は68.6%へと若干の減少がみられたが、2023年74.5%、2024年は75.5%であった。また、経常利益とコロナ関連の補助金を除く経常利益との比較では、赤字病院割合は2021年、2023年で1.0ポイント増加したが、6年ほぼ同率で推移し、各年6月期には補助金の影響はみられなかった。

2024年6月期の医業利益は-2,409万円に対して経常利益-1,854万円、コロナ関連の補助金を除く経常利益はほぼ同額の-1,854万円であった(図8)。

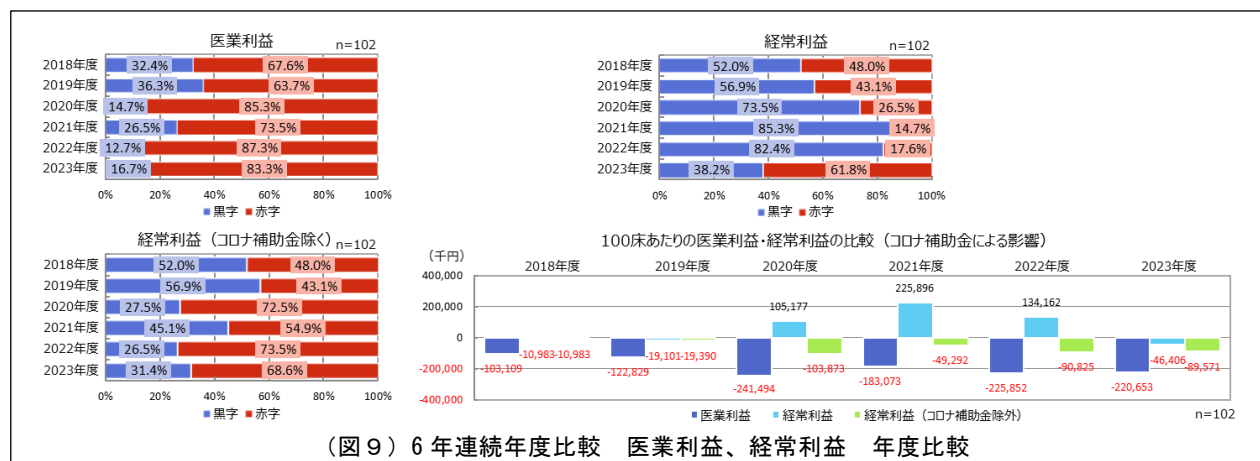


2. 医業損益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)の年度比較

(2018年度/2019年度/2020年度/2021年度/2022年度/2023年度)

(1) 6年連続年度比較 医業利益、経常利益 年度比較

2018年度から2023年度の6年連続年度比較で医業利益をみると、赤字病院割合が2018年度67.6%、2019年度の63.7%から2020年度に85.3%に急増し、2021年度に73.5%に減少したが、2022年度87.3%、2023年度83.3%へと再び増加した。経常利益は黒字病院割合が2018年度52.0%、2019年度は56.9%であったが、2020年度には73.5%へと大幅に増加し、2021年度85.3%、2022年度は82.4%と続いたが、2023年度は38.2%に低下した。



一方で、経常利益と緊急包括支援事業等コロナ関連の補助金を除く経常利益の黒字病院割合を比較すると、2020年度が73.5%と27.5%、2021年度は85.3%と45.1%、2022年度は82.4%と26.5%となり3年続けて40ポイントを超える大きな乖離がみられたが、2023年度は38.2%と31.4%の6.8ポイント差に縮まった。また、100床あたりの医業利益・経常利益の比較では、2023年度はコロナ関連の補助金を除く経常利益を含めてすべて赤字であった（図9）。

（2）一病院あたりの損益

6年連続年度比較では、2023年度の一病院あたりの医業損益を対2018年比でみると、医業収益の+9.9%に対して医業費用は+13.6%となり、医業利益の赤字額は拡大し、医業利益率は2018年度の-3.7%から2023年度が-7.2%であった。経常利益は2019年度以前が赤字、医業外収益の増収により2020年度～2022年度は黒字に転じたが、2023年度は前年度に比べて大幅に減収となり赤字となった。

一病院あたりの医業利益の赤字額は、2018年度の-37,316万円から2020年度には-87,399万円まで拡大し、2023年度は-79,231万円であった。経常利益では2018年度が-3,974万円、2019年度の-6,912万円から、2020年度には38,064万円の黒字へと大幅に増加し、2021年度が81,429万円で最大であったが、2023年度は-16,663万円の赤字となった。

100床あたりの平均で2023年度の医業利益は-22,065万円、経常利益が-4,640万円に対して、コロナ関連の補助金等を除く経常利益は-8,957万円、補助金等を除いた損益差額についても-18,117万円の赤字であった。なお、コロナ関連緊急包括支援事業補助金額は4,316万円であった（表9）。

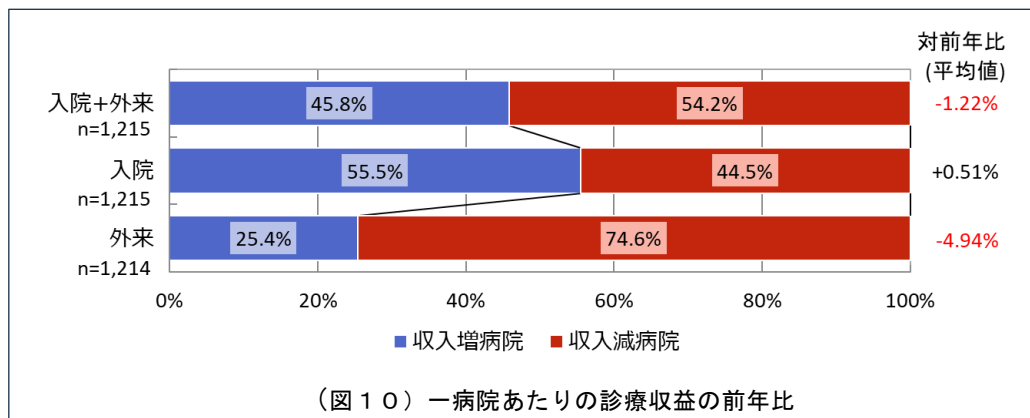
科目 (単位：千円)	一病院あたりの損益						100床あたりの平均						n=102				
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	対2018年 比	対2019年 比	対2020年 比	対2021年 比	対2022年 比
① 医業収益	10,052,292	10,290,209	9,859,193	10,410,272	10,669,612	10,960,583	2,777,553	2,843,292	2,724,198	2,887,967	2,971,388	3,052,420	9.9%	7.4%	12.0%	5.7%	2.7%
② 医業費用	10,425,456	10,734,741	10,733,187	11,070,195	11,480,599	11,752,899	2,880,662	2,966,121	2,965,692	3,071,040	3,197,240	3,273,073	13.6%	10.3%	10.4%	6.6%	2.4%
③ 医業利益 (①-②)	-373,163	-444,532	-873,994	-659,924	-810,986	-792,316	-103,109	-122,829	-241,494	-183,073	-225,852	-220,653					
④ 医業外収益	540,953	563,595	1,434,368	1,661,146	1,480,877	792,168	149,471	155,727	396,331	460,827	412,410	220,611	47.6%	41.7%	-44.3%	-52.1%	-46.5%
⑤ 医業外費用	207,538	188,190	179,728	186,932	188,143	166,486	57,345	51,999	49,661	51,858	52,396	46,365	-19.1%	-10.8%	-6.6%	-10.6%	-11.5%
⑥ 経常利益 (①+④)-(②+⑤)	-39,748	-69,127	380,646	814,290	481,748	-166,633	-10,983	-19,101	105,177	225,896	134,162	-46,406					
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-39,748	-70,174	-375,928	-177,682	-326,134	-321,630	-10,983	-19,390	-103,873	-49,292	-90,825	-89,571					
医業利益率 (③÷①)	-3.7%	-4.3%	-8.9%	-6.3%	-7.6%	-7.2%	-3.7%	-4.3%	-8.9%	-6.3%	-7.6%	-7.2%					
経常利益率 (⑥÷①)	-0.4%	-0.7%	3.9%	7.8%	4.5%	-1.5%	-0.4%	-0.7%	3.9%	7.8%	4.5%	-1.5%					
※1 補助金 (運営・施設・その他)	274,342	294,357	1,166,366	1,359,388	1,151,566	483,923	75,804	81,334	322,279	377,115	320,700	134,768	77.8%	65.7%	-58.2%	-64.3%	-58.0%
※2 補助金を除く医業外収益 (④-※1)	266,611	269,237	268,002	301,758	329,311	308,245	73,667	74,393	74,052	83,712	91,710	85,843	16.5%	15.4%	15.9%	2.5%	-6.4%
※3 損益差額 (③+※2-⑤)	-314,090	-363,485	-785,720	-545,098	-669,818	-650,556	-86,786	-100,435	-217,103	-151,218	-186,538	-181,174					
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金		1,047	756,574	991,972	807,881	154,997		289	209,049	275,188	224,987	43,165					
⑧ 水道光熱費 補助金				0	5,965	9,112				0	1,661	2,538					
⑨ 人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料					2,156	6,057					600	1,687					

（表9）一病院あたりの損益・100床あたりの平均

Ⅶ. 診療収益・診療単価・延患者数の前年同月比較（2023年6月/2024年6月）

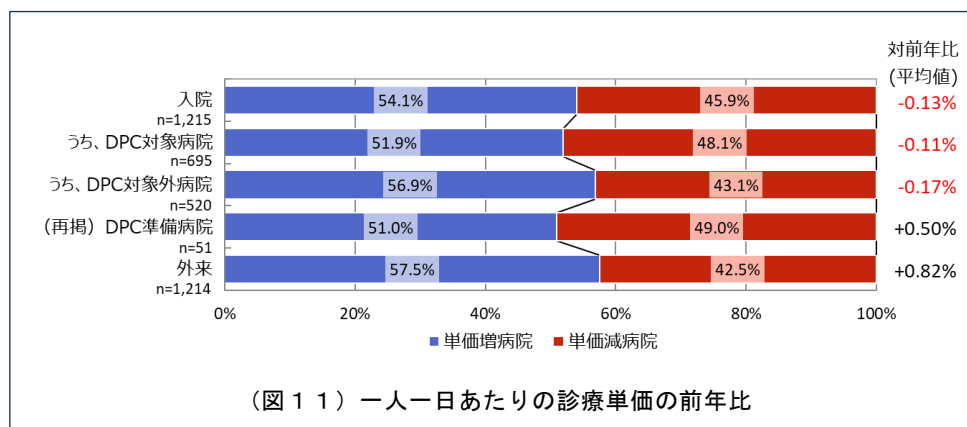
（1）一病院あたりの診療収益の前年比

2023年6月および2024年6月の前年同月比較において入院＋外来の診療収益は、収入増病院の割合が45.8%であったが、対前年比は-1.22%の減収であった。入院、外来診療収益の増収病院割合は、入院は収入増病院の割合が55.5%だが、外来は収入減病院の割合が74.6%を占めていた。対前年比は、入院+0.51%の増収、外来-4.94%の減収であった（図10）。

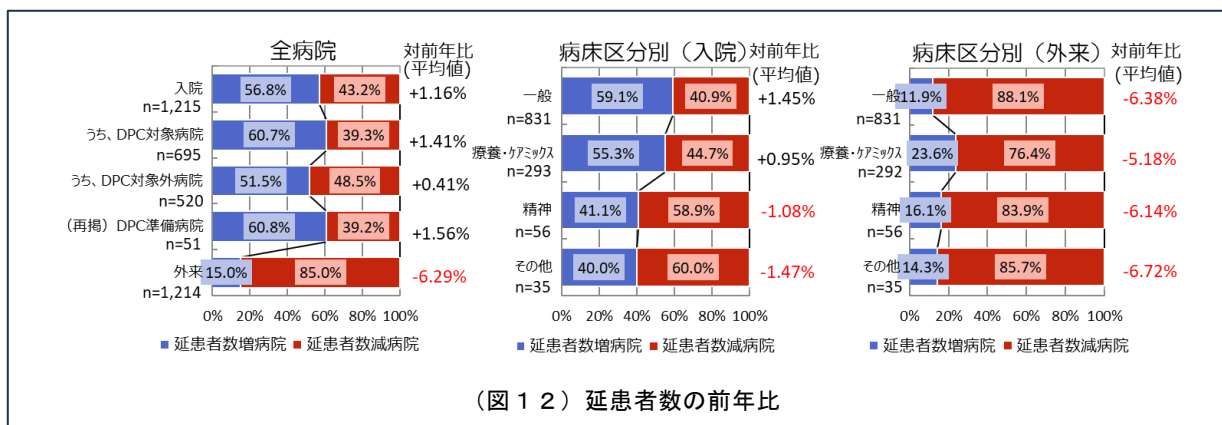


(2) 一人一日あたりの診療単価の前年比

一人一日あたりの診療単価の前年同月比較では、入院診療単価は入院全体で 54.1%が単価増 (DPC 対象病院 51.9%、DPC 対象外病院 56.9%) となり、外来は 57.5%が単価増であった。対前年比 (平均値) では、入院全体で -0.13%の単価減 (DPC 対象病院 -0.11%、DPC 対象外病院 -0.17%) となり、外来は +0.82%の単価増であった。(図 11)。



(3) 延患者数の前年比



全病院の延患者数は、入院は 56.8%と延患者数増病院の割合が高く、外来は 85.0%と延患者数減病院の割合が高かった。対前年比では、入院は +1.16%、外来は -6.29%であった (図 12)。

VIII. 名簿

一般社団法人	日本病院会	会長	相澤 孝夫
公益社団法人	全日本病院協会	会長	猪口 雄二
一般社団法人	日本医療法人協会	会長	加納 繁照

<病院団体合同調査ワーキンググループ>

日本病院会	副会長		島 弘志
日本病院会	診療報酬作業小委員会	委員長	永易 卓
日本病院会	診療報酬作業小委員会	委員	中山 和則(代理)
日本病院会	診療報酬作業小委員会	委員	原口 博(代理)
全日本病院協会	医療保険・診療報酬委員会	委員長	津留 英智
全日本病院協会	医療保険・診療報酬委員会	副委員長	太田 圭洋
全日本病院協会	医療保険・診療報酬委員会	委員	西本 育夫
日本医療法人協会	副会長		太田 圭洋

<日本病院会 診療報酬検討委員会>

委員長	島 弘志	新古賀病院	総病院長
副委員長	岡 俊明	聖隷浜松病院	病院長
委員	梶川 昌二	諏訪赤十字病院	病院長
	北村 立	石川県立こころの病院	病院長
	富満 弘之	JA とりで総合医療センター	院長
	牧野 憲一	旭川赤十字病院	病院長
	松本 隆利	八千代病院	名誉院長
	永易 卓	若弘会本部	理事・総務部長
	須貝 和則	国立国際医療研究センター	医事管理部 部長

＜全日本病院協会 医療保険・診療報酬委員会＞

委員長	津留 英智	宗像水光会総合病院	理事長
副委員長	太田 圭洋	名古屋記念病院	理事長
委 員	田蔭 正治	たまき青空病院	理事長
	濱砂 カヨ	宮崎善仁会病院	理事長
	丸山 泰幸	岩槻南病院	理事長・院長
	小關 剛	筑波記念病院	理事長
	西本 育夫	横浜メディカルグループ	業務部長
	増田 好美	新生会第一病院	医事課長

＜日本医療法人協会 医療・介護保険・地域包括ケア部会＞

部会長	関 健	城西病院	理事長・総長
部会員	太田 圭洋	名古屋記念病院	理事長
	西村 直久	西部総合病院	理事長
	金澤 知徳	青磁野リハビリテーション病院	理事長
	佐能 量雄	光生病院	理事長
	高橋 幹治	片倉病院	理事長
	谷本 康信	本郷中央病院	病院長
	鬼塚 一郎	田主丸中央病院	理事長
	田辺 裕久	朝倉病院	理事長
	武田 隆久	武田総合病院	理事長
	武田 敏也	京都武田病院	理事長

＜日本病院会 診療報酬作業小委員会＞

委員長	永易 卓	若弘会本部	理事・総務部長
副委員長	佐合 茂樹	中部国際医療センター	病院長補佐・事務長
委 員	朝見 浩一	恩賜財団済生会横浜市東部病院	事務部 担当課長
	荒井 康夫	北里大学未来工学部データサイエンス学科	講師
	池田 隆一	相澤東病院	事務長・医療連携センター センター長
	北澤 将	国家公務員共済組合連合会 東北公済病院	事務部長
	中山 和則	筑波メディカルセンター病院	副院長・事務部長
	原口 博	公立昭和病院	事務局長
	平井 幸彦	新古賀病院	診療情報管理室 統括課長
特別委員	田畑 久美	沼津中央病院	事務部長